

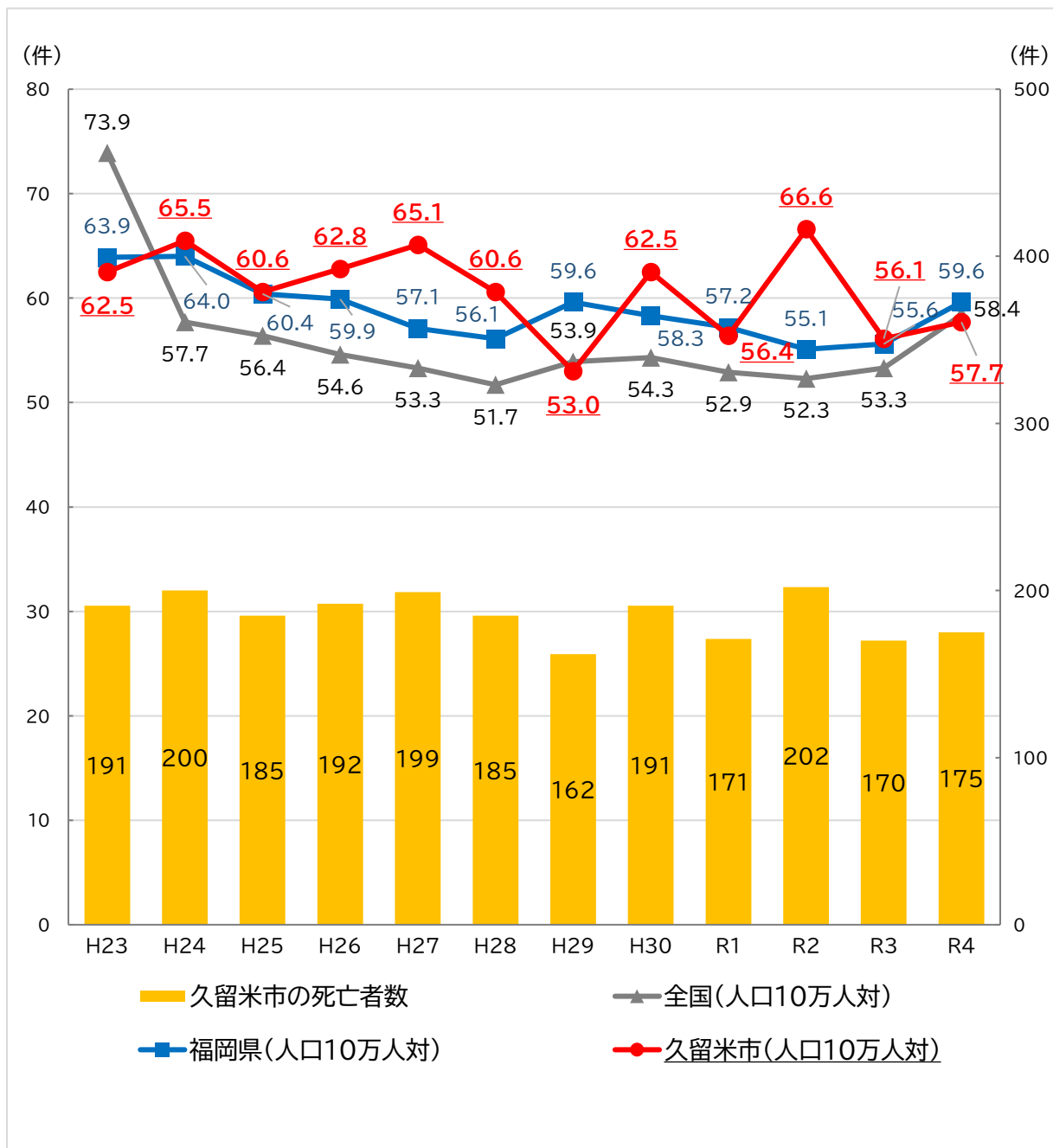
3 外的要因による死亡に関する状況

(1) 外的要因による死亡者数（人口動態統計）

久留米市の外的要因による死亡者数は、ほぼ横ばいで推移しています。

令和4年は前年度より増加していますが、全国や福岡県の上昇率を下回ったことから、人口10万人あたりの死亡者数は全国や県を下回りました。

■[図 3-1]外的要因による死亡者数、及び人口10万人当たりの数の推移



(2) 年齢階級別の死亡原因上位（福岡県保健統計年報） ※病気等による死亡含む

外因及び病気等による死亡原因を年齢層ごとにみると、自殺が10歳代から30歳代までの死亡原因の1位、40歳代から50歳代では2位となっています。

また、30歳代以下では、他の年齢層とは異なり不慮の事故による死亡が死亡原因の上位に位置しています。

■[図 3-2]H29～R3年の年齢階級別の死亡原因上位5位

※()内は人数

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	染色体異常等 (14)	周産期に発生した病態 (5) <u>不慮の事故 (5)</u> …溺死溺水(2)、窒息(2)、転倒転落墜落(1) その他の症状 (5)		感染症等(2) インフルエンザ(2)	
10～19歳	自殺(16)	新生物〈腫瘍〉(3) <u>不慮の事故(3)</u> …交通事故(2)、転倒転落等(1)	神経系の疾患(2)		消化器系の疾患(1) その他の症状(2)
20～29歳	自殺(26)	新生物〈腫瘍〉(9)	<u>不慮の事故(8)</u> …交通事故(8)	神経系の疾患(6)	その他の症状(3)
30～39歳	自殺(30)	新生物〈腫瘍〉(24)	<u>不慮の事故(8)</u>	その他の症状(6)	内分泌、栄養及び代謝疾患(5)
40～49歳	新生物〈腫瘍〉(109)	自殺(47)	脳血管疾患(22)	心疾患(17) その他の症状(17)	
50～59歳	新生物〈腫瘍〉(237)	自殺(47)	脳血管疾患(45)	心疾患(44)	消化器系の疾患(37)
60～69歳	新生物〈腫瘍〉(768)	心疾患(97)	脳血管疾患(81)	消化器系の疾患(74)	その他の症状(65)
70～79歳	新生物〈腫瘍〉(1,421)	心疾患(217)	脳血管疾患(193)	その他の呼吸器系疾患(172)	肺炎(140)
80～89歳	新生物〈腫瘍〉(1,664)	心疾患(684)	脳血管疾患(472)	その他の呼吸器系疾患(440)	肺炎(390)
90歳以上	老衰(803)	心疾患(791)	新生物〈腫瘍〉(674)	脳血管疾患(388)	肺炎(343)

(3) 死亡統計における不慮の事故等のデータ (人口動態統計)

①年齢層別 不慮の事故等による死亡の上位5位

10～69歳の自殺の件数は他の要因と比較して特に多い。

また、高齢になるほど溺死・溺水、転倒・転落、窒息による死亡が多い。

■[図 3-3]H30～R4年の不慮の事故等による死亡の上位5位

※()内は人数

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	窒息(2)	交通事故(1) 転倒・転落(1) 溺死・溺水(1)			
10～19歳	自殺(15) ←→ 交通事故(2)		転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(27) ←→ 交通事故(6)				
30～39歳	自殺(33) ←→ 溺死・溺水(3)		交通事故(1) 転倒・転落(1) 窒息(1) 煙・火(1) 中毒(1)		
40～49歳	自殺(48) ←→ 窒息(3)		交通事故(2) 転倒・転落(2) 溺死・溺水(2)		
50～59歳	自殺(49) ←→ 交通事故(5)		溺死・溺水(3)		中毒(2)
			窒息(3)		その他不慮の事故(2)
60～69歳	自殺(40) ←→ 溺死・溺水(15)		窒息(9)		交通事故(7)
			その他不慮の事故(9)		
70～79歳	溺死・溺水(59)	自殺(30)	窒息(20)	その他不慮の事故(13) 転倒・転落(13)	
80～89歳	溺死・溺水(78)	転倒・転落(37)	その他不慮の事故(33)	自殺(25)	窒息(24)
90歳以上	転倒・転落(44)	溺死・溺水(28)	窒息(22) その他不慮の事故(22)		自殺(3)
合計	自殺(270)	溺死・溺水(189)	転倒・転落(103)	窒息(84)	その他不慮の事故(80)

(次ページと比較)

過去の累計と比較すると、全体的に交通事故による死亡が減少している。また、10歳代の自殺、70歳以上の溺死・溺水、80歳以上の転倒・転落による死亡数が増加している。

【平成 25 年認証申請書より】

■[図 3-4]H19～H23 年の不慮の事故等による死亡の上位 5 位

※()内は人数

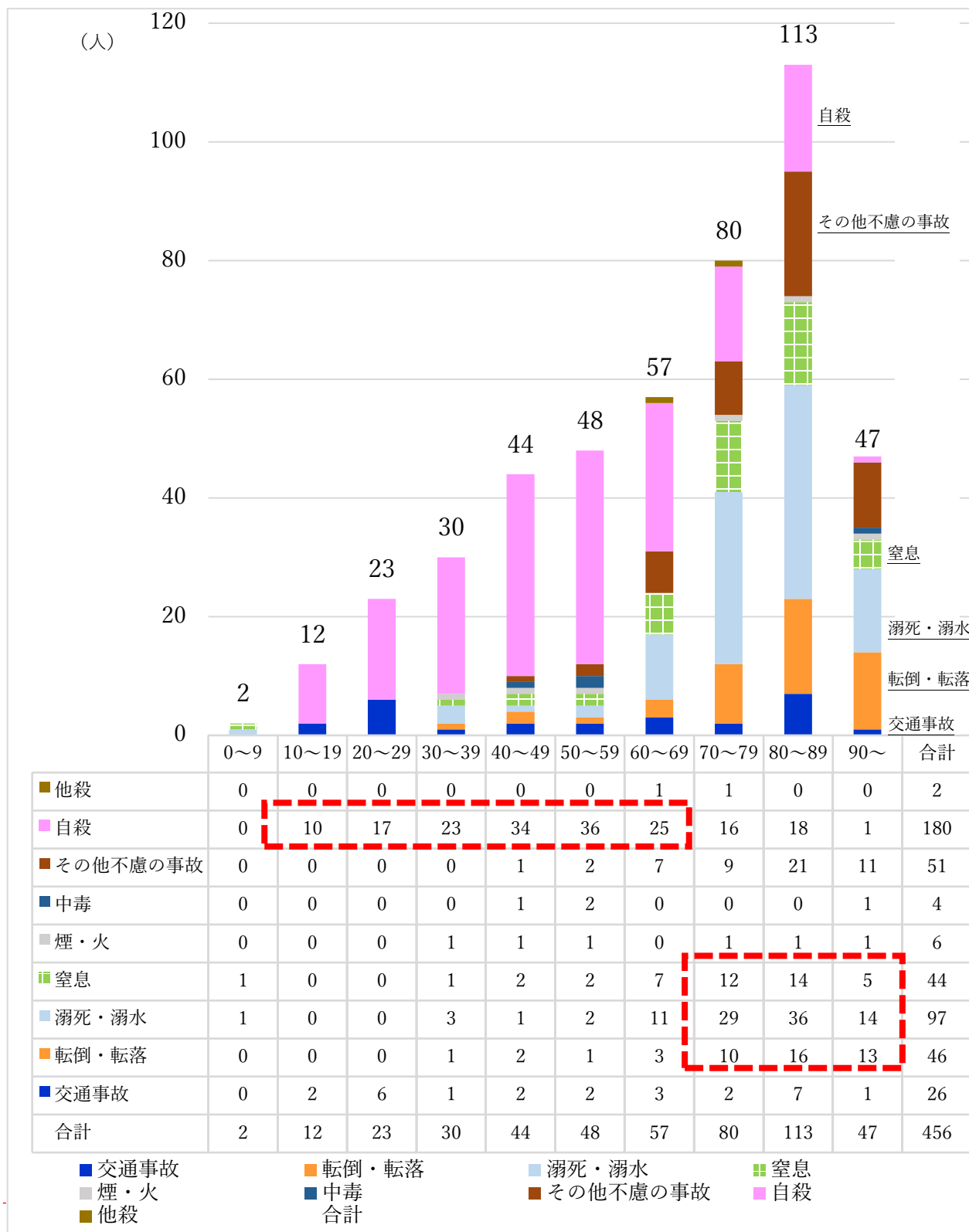
年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	溺死・溺水(2)	交通事故(1)			
10～19歳	自殺(8)	交通事故(5)	転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(38)	交通事故(7)	溺死・溺水(4)	煙・火(1)	
30～39歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(4)	転倒・転落(2)	他殺(1)
40～49歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(3)	溺死・溺水(2)	転倒・転落(1)
50～59歳	自殺(86)	交通事故(13)	溺死・溺水(4)	窒息(7)	その他不慮の事故 (6)
60～69歳	自殺(56)	溺死・溺水(14)	交通事故(12)	窒息(10)	転倒・転落(7)
70～79歳	溺死・溺水(44)	自殺(40)	窒息(26)	転倒・転落(25)	交通事故(17)
80～89歳	溺死・溺水(55)	窒息(22)	その他不慮の事故 (28)	転倒・転落(24)	自殺(21)
90歳以上	転倒・転落(23)	窒息(22)	溺死・溺水(11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故(6)
合計	自殺(369)	溺死・溺水(143)	窒息(115)	転倒・転落(88)	交通事故(84)

② [男性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計）

80歳代の件数が最も多く、要因として溺死・溺水の件数が多い。

10～60歳代は自殺の件数が最も多く、70歳以上は、溺死・溺水、窒息、転倒・転落の件数が多くなる。

■[図 3-5] 男性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（H30～R4年の5年間累計）



③ [女性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計、H30～R4年の5年間の累計）

男性と同じく10～60歳代では自殺の件数が最も多く、70歳代以上では溺死・溺水、窒息、転倒・転落である。

なお、男性と比べ90歳以上では転倒・転落がによる死亡数が多い。

■[図 3-6]女性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（H30～R4年の5年間累計）

